

提供日 2026/04/28
タイトル 大型連休に注意してほしい感染症
担当 健康福祉部 医療局感染症対策課
連絡先 感染症管理センター
TEL 055-928-7220



～大型連休に注意してほしい感染症～

大型連休に旅行やレジャーを計画されている方も多いと思います。
連休中に注意していただきたい感染症についてお知らせします。

□麻しん（はしか）

- 2025年から流行が続き、2026年はすでに昨年の患者数を超過しており、海外の流行地域だけでなく、国内でも感染の恐れがあります。
- 関東地域を中心に発生が急増しています。**関東地域等で多数の人が集まるイベント等に参加した後、1～2週間は体調に注意し、発熱や発疹が出た場合は、医療機関に受診前に連絡し、行動歴等を伝えて指示を仰いでください。**
- 特に、**定期予防接種前の0～1歳児は、重症化するリスクがあるため、関東地域等で不特定多数の人がいる屋内（電車内も含む）で過ごすことは、なるべく避ける**のが望ましいです。

□マダニからうつる感染症（重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、日本紅斑熱）

- 近年増加傾向で、2025年は両疾患、全国、静岡県ともに過去最多の発生数です。
- 全国の月別SFTS発生数は、5月が最も多くなっています。
- 草むら等のマダニにより感染しますので、**草や野菜に触れる野外活動の際には、（1）活動前にマダニに有効な虫よけ剤を使用（2）活動中は、肌の露出を極力避ける（3）活動後、マダニが皮膚に吸着していないか全身を確認することをお願いします。**
- 野外活動後2週間程度は、**体調の変化に注意し、発熱等の症状が見られたら受診し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えてください。**

□海外での感染症

- 海外では、麻しんが流行している国が多いです。
- **海外では、日本にはない感染症が流行している地域があります。事前に下記の厚生労働省ホームページ等で渡航先での感染症の情報を入手してから行動してください。**
- 生水やカットフルーツ、十分に火の通っていないもの等は、なるべく飲食しないようにしてください。
- 蚊や動物からうつる感染症もありますので、虫よけスプレー等の持参をおすすめします。

<参考：海外での感染症予防に関連する情報について>

厚生労働省検疫所ホームページ FORTH (For Travelers' Health)
<https://www.forth.go.jp/index.html>

厚生労働省ホームページ「海外へ渡航される皆様へ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

<県内の最新の感染症情報>

静岡県感染症情報センター

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



麻疹(はしか)って、どんな感染症？

- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し(コロナの5倍)、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ室内にいただけで感染
- **治療薬は無し**(抗麻疹ウイルス薬なし)
- **ワクチン2回接種**の人は感染しないか、感染しても軽症
- ワクチン未接種患者の**数100人に1人は死亡**
- 症状は、高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しく多くの患者が入院**
- 合併症は、**中耳炎(7%)、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)**等

麻疹の詳細は、JIHS(国立健康危機管理研究機構)の感染症情報提供サイトへ
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html>

麻疹 今年の国内発生状況①(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

I. 麻疹累積報告数の推移 2019~2026年(第1~15週)(2026年は4月12日まで)

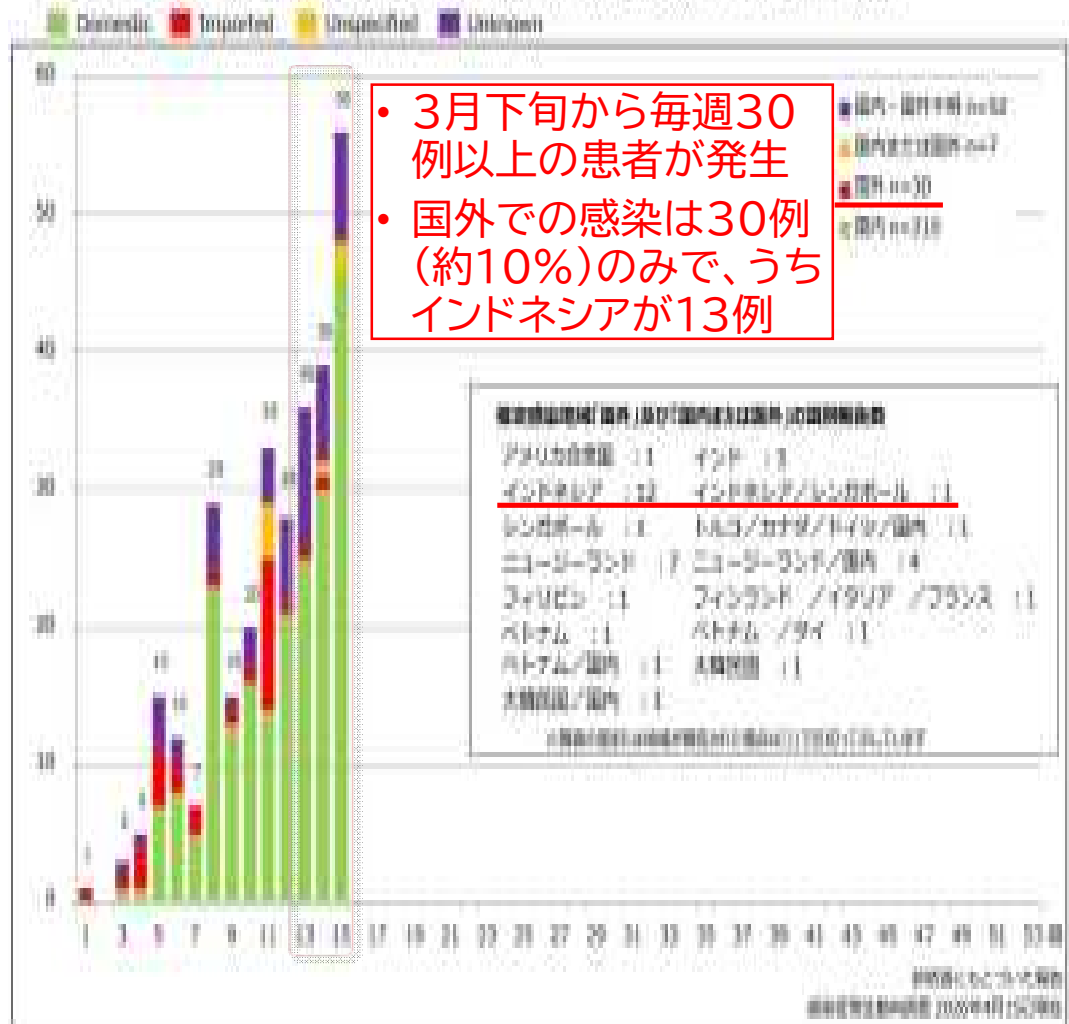
Cumulative measles cases by week, 2019-2026 (week 1-15) (based on reported week as of April 12, 2026)



- 2019年の大きな流行後、コロナ禍中は患者数が少なかったが2025年春から増加中
- 2026年は25年より、立ち上がりが早く、増加も急速で、3か月半で昨年1年間の報告数265人を超えた

II. 週別発生報告数(国内・外)別麻疹報告数 2026年 第1~15週 (n=265)(2025年12月29日~26年4月12日)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-15, 2026 (based on reported week as of April 12, 2026)



- 3月下旬から毎週30例以上の患者が発生
- 国外での感染は30例(約10%)のみで、うちインドネシアが13例

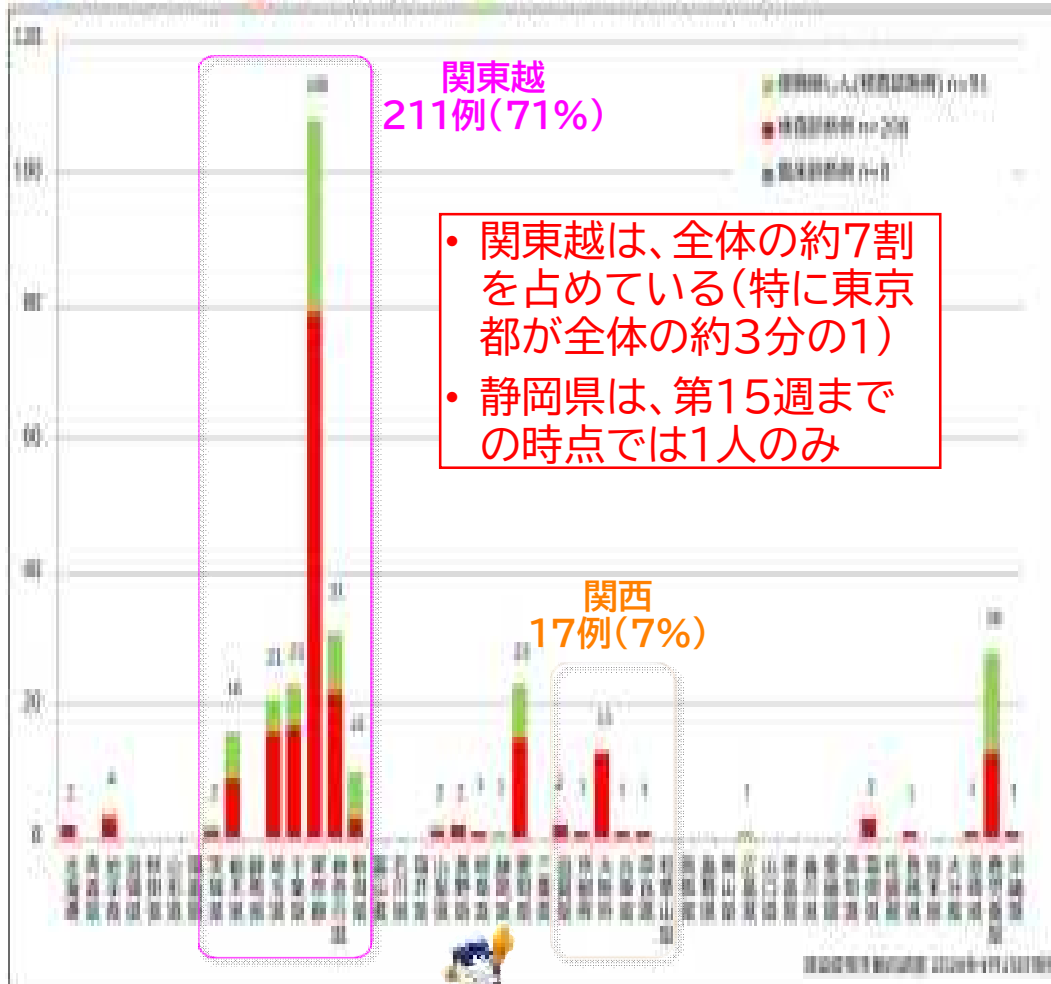
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-15.pdf> より

麻疹 今年の国内発生状況② (国立健康危機管理研究機構のサイトより)

4. 都道府県別麻疹発生人数と診断方法数 2026年 第1-15週 (n=294) (2025年12月29日~26年4月12日)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-15, 2026 (as of April 15, 2026)

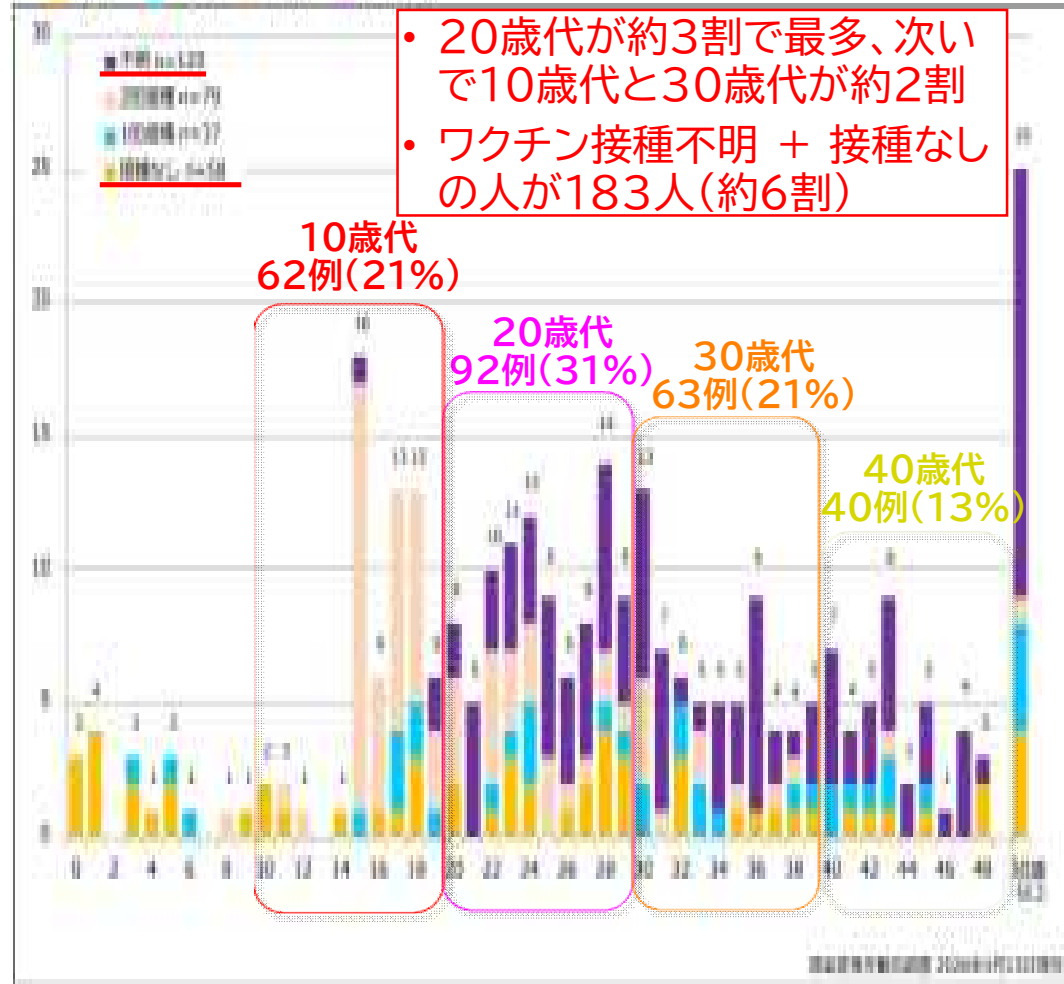
■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Hospital measles, Laboratory diagnosed



5. 年齢別接種歴別麻疹発生人数 2026年 第1-15週 (n=294) (2025年12月29日~26年4月12日)

Cumulative measles cases by age and vaccination status, week 1-15, 2026 (as of April 15, 2026)

■ None ■ MCV1 ■ MCV2 ■ Unknown



<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-15.pdf> より

麻疹に関して県感染症管理センターからのお願い

- **1歳の誕生日がきたら、麻疹風疹混合(MR)ワクチンをすぐにうつ！**（それまでは関東で多くの人が集まる場所には行かない方が望ましい）
- **5歳(年長さんの学年)でのMRワクチン2期の接種率が下がっており、忘れずにうつ！**
- 麻疹未感染の50歳代半ば以下の方は、**母子手帳で自分の麻疹ワクチン接種回数を確認し、0回と1回の方は接種(自費)の検討を！**